

# いちご栽培管理 (R2.8.)

(有) 丸 富

7月は梅雨が長引き、全国各地で豪雨や突風、竜巻など甚大な被害が発生した。農作物は長雨日照不足により、生長が鈍く、軟弱徒長傾向で病害虫の発生が多かった。

## 梅雨明け前対策

梅雨明け後は強い日差しと高温により、一時的に萎れや日焼けが発生する。事前対策として、梅雨明け前に葉面散布などで苗(株)を充実させる。また、急激な変化を回避するため、遮光資材を活用する。

苗の充実促進に時を越えた贈り物 500倍とサンミネーラ(又はシリカアップ)5,000倍を数回、葉面散布する。

## 病害対策

光合成の低下が窒素の消化を抑え、根の働きも低下させる。病害の発生原因である窒素過多を改善し、健全な苗を育成することが、病害の軽減に繋がる。

健全な苗の育成に天地の恵み(又は笑顔)1,000倍と天然ミネラル 1,000倍を散水(灌注)する。

防除時に天地の恵み(又は笑顔)1,000倍とサンミネーラ 10,000倍を混用する。

## 発根促進

根の働きを活発にするには、葉の充実を図ると同時に、根に酸素供給を行い、発根促進する方が効果的。

発根促進に G バランス DF 5,000倍と天地の恵み(又は発根力)1,000倍を灌注、又は散水する。

## 徒長対策

日照不足で苗が軟弱徒長傾向なので、苗が混み合っている場合は、株間を広げて、通気性を確保する。

徒長対策に酸カル 1,000倍とサンミネーラ 5,000倍とシリカアップ 5,000倍を灌注、又は散水する。

## 害虫対策

長雨による根傷みなどで初アブラムシの発生が各地で確認されているので注意して観察する。また樹勢低下によりダニ、トリヒメコバエなど害虫の発生が多くなっている。周辺環境や窒素過多(根の状態)も観察を。

事前対策にバイオアクトTS (又はスツパー-雅)50~100 cc/10a を3~5日毎に散水、又は灌水する。

## 追肥(液肥)

少量多回数で灌水、散水する。施用量は置き肥(固形肥料)、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	500~1,000倍	} 5~7日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
時を越えた贈り物(又は天地の恵み)	1,000~2,000倍	
サンミネーラ	5,000~10,000倍	
バイオアクトTS	5,000~10,000倍	

※サンミネーラの代わりにシリカアップ 100~150 cc、天然ミネラル 150~200 cc、海藻のエキス 50~100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)